

建設大臣賞

都市計画道路 宮渚新橋上金井線改良事業

(表彰対象者：長野県松本市都市開発部)

表彰の理由

国宝松本城の景観と周辺環境の保全に配慮した道路構造やデザインに工夫がなされ、沿線地権者の協力により交通の円滑化と自然に優しい道路空間が創りだされた。

事業のあらまし

本路線は、城下町松本を東西に貫く重要な道路であり、年間約100万人が訪れる国宝松本城の外堀に接している。この事業は、交通渋滞の解消並びに歩行者や自転車の安全確保はもとより、国宝松本城周辺にふさわしい景観整備を図るべく、都市景観形成モデル事業として施行したものである。

- 延長：765m
- 幅員：16～19.5m
- 事業費：3,100百万円
- 事業実施期間：昭和60年3月～平成5年3月

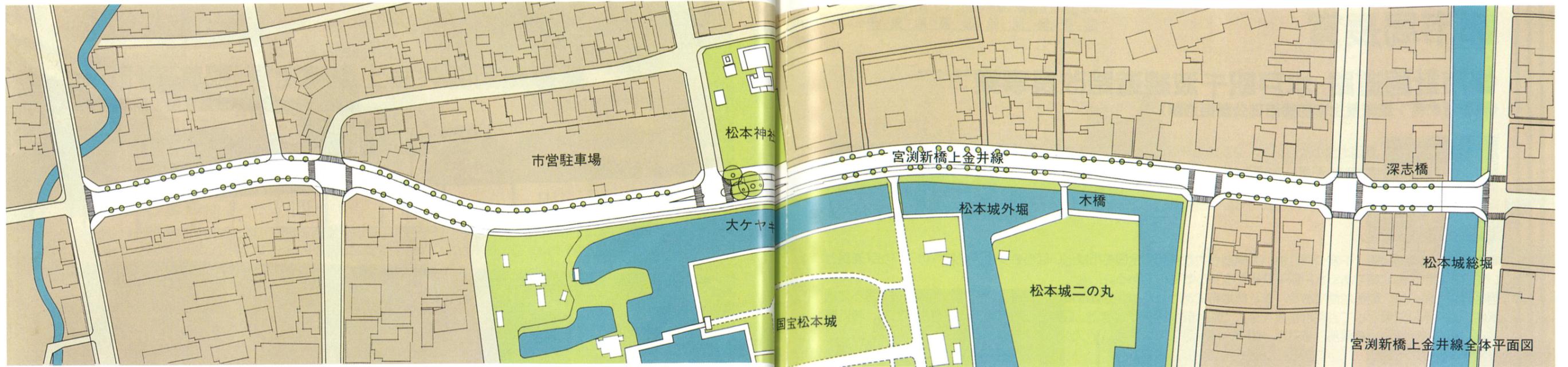


深志橋とゲート式信号機。



整備前の深志橋。

松本城と宮渚新橋上金井線



整備前の松本神社のケヤキ。



中央分離帯と歩道に残る大ケヤキ。



歩道と架け替えた木橋



歩道部夜景

事業遂行上の工夫

道路内にあった電柱を住民の協力を得て民地裏に移設した。また、松本神社の大ケヤキ（樹齢400年）を保存するため、道路の縦断勾配と線形を変更し、桁を架け、樹勢回復工事を行った。歩道舗装は松本城の白と黒を基調とし、照明は松本城の土格子風な反射板による間接照明とし、松本城の脇役としての夜間景観にも配慮した。

受賞者のコメント

国宝松本城の景観と周辺環境の保全に配慮した道路整備やデザインの工夫と、沿道関係者の協力により、交通の円滑化と自然に優しい道路空間が創りだされ、高く評価されることができた。これを機に、より一層「安全かつ、快適で、うるおいのある街づくり」を目指した街路事業を積極的に進めてまいりたい。